

第10回

再臨待望聖会

日本の靈的覚醒 ユダヤ人の救い メシアの再臨

祝福に満ちた希望 –テトス2:13–

携拳について知るべきすべてのこと



特別講師：リチャード・ヒル博士

通訳：中川健一



ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

無断複製・転載を禁じます

CONTENTS

PART1

古代のユダヤ式結婚の習慣 (The Ancient Jewish Wedding)	3
---	---

PART2

ラッパの祭り (The Feast of Trumpets)	6
--------------------------------------	---

教会は神の怒りを免れている (The Church is Exempt from God's Wrath)	7
---	---

信者は肉体を持って御国に入る必要がある (The Necessity of Believers to Enter the Kingdom in Human Bodies)	9
---	---

PART3

神の2つの経緯：イスラエルと教会に対して (God's Two Economies for Israel and the Church)	10
--	----

携挙は目前に迫っている (The Rapture is Imminent)	11
---	----

※本テキストの掲載聖句は、特に断りのない限り新日本聖書刊行会の『聖書 新改訳 2017』を使用しています。

PART1

古代のユダヤ式結婚の習慣 The Ancient Jewish Wedding

1. 婚約 (The Marriage Covenant)

(1) エペソ 5：25

5：25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

2. 準備 (The Preparation)

(1) 2 コリント 11：2

11：2 私は神の熱心をもって、あなたがたのことを熱心に思っています。私はあなたがたを清純な処女として、一人の夫キリストに献げるために婚約させたのですから。

(2) ヨハネ 14：2～3

14：2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

3. 花嫁を連れ帰る (The Fetching of the Bride)

(1) マタイ 25 : 1 ~ 6

- 25 : 1 そこで、天の御国は、それぞれともしびを持って花婿を迎えに出る、十人の娘にたとえることができます。
- 2 そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。
- 3 愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を持って来ていなかった。
- 4 賢い娘たちは自分のともしびと一緒に、入れ物に油を入れて持っていた。
- 5 花婿が来るのが遅くなったので、娘たちはみな眠くなり寝入ってしまった。
- 6 ところが夜中になって、『さあ、花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。

(2) 1 テサロニケ 4 : 16

- 4 : 16 すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

4. 花嫁の清め (The Bride Cleansed)

(1) 1 コリント 3 : 12 ~ 15

- 3 : 12 だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、
- 13 それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものを試すからです。
- 14 だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。
- 15 だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。

(2) エペソ 5 : 25 ~ 27

- 5 : 25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたも妻を愛しなさい。

- 26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、
- 27 ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

5. 結婚式 (The Wedding Ceremony)

(1) 黙示録 19：6～8

- 19：6 また私は、大群衆の声のような、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のようなものがこう言うのを聞いた。「ハレルヤ。私たちの神である主、全能者が王となられた。
- 7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時に来て、花嫁は用意ができたのだから。
- 8 Rev 19:8 花嫁は、輝くきよい亜麻布をまとうことが許された。その亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。。」

6. 婚宴 (The Marriage Feast)

(1) 黙示録 19：9

- 9 御使いは私に、「子羊の婚宴に招かれている者たちは幸いだ、と書き記しなさい」と言い、また「これらは神の真実なことばである」と言った。

PART2

ラッパの祭り

The Feast of Trumpets

1. レビ 23 : 23 ~ 25

23 : 23 【主】はモーセにこう告げられた。

24 「イスラエルの子らに告げよ。第七の月の一日はあなたがたの全き休みの日であり、角笛を吹き鳴らして記念する聖なる会合を開く。

25 あなたがたは、いかなる労働もしてはならない。食物のささげ物を【主】に献げなさい。」

2. 1 テサロニケ 4 : 13 ~ 18

4 : 13 眠っている人たちについては、兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。

14 イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、神はまた同じように、イエスにあって眠った人たちを、イエスとともに連れて来られるはずです。

15 私たちは主のことばによって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っているなら、眠った人たちより先になることは決してありません。

16 すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

17 それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

18 ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。

3. 1コリント15：50～52

- 15：50 兄弟たち、私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。
- 51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。
- 52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

教会は神の怒りを免れている

The Church is Exempt from God's Wrath

1. 1テサロニケ5：9～10

- 5：9 神は、私たちが御怒りを受けるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。
- 10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。

2. 1テサロニケ1：9～10

- 1：9 人々自身が私たちのことを知らせています。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、
- 10 御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。

3. 黙示録 3 : 10

3 : 9 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

4. 副題：神の怒りはいつ注がれるのか (When Is God's Wrath Poured Out?)

(1) 黙示録 6 : 7 ~ 8

6 : 7 子羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が「来なさい」と言うのを聞いた。

8 私は見た。すると見よ、青ざめた馬がいた。これに乗っている者の名は「死」で、よみがそれに従っていた。彼らに、地上の四分の一を支配して、剣と飢饉と死病と地の獣によって殺す権威が与えられた。

(2) 黙示録 15 : 1

15 : 1 また私は、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。ここに神の憤りは極まるのである。

(3) 黙示録 21 : 9

21 : 9 また、最後の七つの災害で満ちた、あの七つの鉢を持っていた七人の御使いの一人がやって来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。あなたに子羊の妻である花嫁を見せましょう。」

信者は肉体を持って御国に入る必要がある

The Necessity of Believers to Enter the Kingdom in Human Bodies

1. マタイ 25 : 31 ~ 34、40

- 25 : 31 人の子は、その栄光を帯びてすべての御使いたちを伴って来るとき、その栄光の座に着きます。
- 32 そして、すべての国の人々が御前に集められます。人の子は、羊飼いが羊をやぎからより分けるように彼らをより分け、
- 33 羊を自分の右に、やぎを左に置きます。
- 34 それから王は右にいる者たちに言います。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。』

- 25 : 40 すると、王は彼らに答えます。『まことに、あなたがたに言います。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。』

2. マタイ 23 : 37 ~ 39

- 23 : 37 エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。
- 38 見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。
- 39 わたしはおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。』

PART3

神の2つの経緯：イスラエルと教会に対して God's Two Economies for Israel and the Church

1. エゼキエル 36：24～28

- 36：24 わたしはあなたがたを諸国の間から導き出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。
- 25 わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよくなる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、
- 26 あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。
- 27 わたしの霊をあなたがたのうちに授けて、わたしの掟に従って歩み、わたしの定めを守り行うようにする。
- 28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

2. ダニエル 9：24～27

- 9：24 あなたの民とあなたの聖なる都について、七十週が定められている。それは、背きをやめさせ、罪を終わらせ、咎の宥めを行い、永遠の義をもたらし、幻と預言を確証し、至聖所に油注ぎを行うためである。
- 25 それゆえ、知れ。悟れ。エルサレムを復興し、再建せよとの命令が出てから、油注がれた者、君主が来るまでが七週。そして苦しみの期間である六十二週の間、広場と堀が造り直される。
- 26 その六十二週の後、油注がれた者は断たれ、彼には何も残らない。次に来る君主の民が、都と聖所を破壊する。その終わりには洪水が伴い、戦いの終わりまで荒廃が定められている。

- 27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。』

3. エレミヤ 31:31～34

- 31:31 見よ、その時代が来る——【主】のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ。
- 32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——【主】のことば——。
- 33 これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——【主】のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。
- 34 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ兄弟に、『【主】を知れ』と言って教えることはない。彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るようになるからだ——【主】のことば——。わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないからだ。』

携挙は目前に迫っている The Rapture is Imminent

1. ペリピ 3:20～21

- 3:20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。
- 3:21 キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

2. テトス 2 : 11 ~ 13

- 2 : 11 実に、すべての人に救いをもたらす神の恵みが現れたのです。
- 12 その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、
- 13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。

3. 1 コリント 16 : 22

- 16 : 22 主を愛さない者はみな、のろわれよ。主よ、来てください。

4. ヤコブ 5 : 7 ~ 8

- 5 : 7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。
- 8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。

5. 1 テサロニケ 1 : 10

- 1 : 10 御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。

第10回 再臨待望聖会

タイムスケジュール

(各聖会の間には小休憩があります)

大阪会場

9:30～	開場		
10:00～13:00	聖会Ⅰ	講師メッセージ(1) 証し	リチャード・ヒル博士 オアン・ヒル夫人
13:00～14:00	昼休憩		
14:00～17:00	聖会Ⅱ	講師メッセージ(2)	リチャード・ヒル博士

東京会場

9:30～	開場		
10:00～13:00	聖会Ⅰ	講師メッセージ(1) 証し	リチャード・ヒル博士 オアン・ヒル夫人
13:00～14:00	昼休憩		
14:00～17:00	聖会Ⅱ	講師メッセージ(2)	リチャード・ヒル博士

石川会場

9:30～	開場		
10:00～12:00	聖会Ⅰ	講師メッセージ(1) 証し	リチャード・ヒル博士 オアン・ヒル夫人
12:00～13:00	昼休憩		
13:00～15:00	聖会Ⅱ	講師メッセージ(2)	リチャード・ヒル博士
15:00～16:00	質疑応答		リチャード・ヒル博士